能率がアップする最新文具（第10回）

“カット”に命をかけるセロハンテープの世界

2017.04.20



セロハンテープをカットするために、デスクにテープカッターを備えている人もいるでしょう。テープカッターは、引き出したセロハンテープをカットするというシンプルな機能ではありますが、意外と奥深い構造になっています。

例えば、テープカッターの先端に付いているギザギザの刃は、厳密にいえばテープをカットするものではなく、テープに小さな穴を開けるためのもの。その小さな穴をさらに引っ張り続けることで、穴が拡大し、テープが引き裂かれ、結果的にテープを切ることができているのです。

今回は、単機能ではありながらも奥深いテープカッターの中から、個性的な製品を3点紹介します。

切り口が直線に、力を入れる必要もなし

テープカッターでカットしたテープは、前述の通り刃で小さな穴が開くため、切り口はギザギザに仕上がります。しかしこれだと、テープを貼った跡がギザギザで目立ちやすくなってしまい、見栄えが悪くなります。また、テープを引っ張る際には、テープを引き裂くために力を入れる必要がありました。

こうした従来のカット方法の問題点を解決したテープカッターが、ニチバンの「直線美」と、コクヨの「カルカット」です。

この2製品に共通しているのは、一般的なテープカッターよりも刃先を精密な構造にした点です。直線美は、直線的な刃の先にプレス加工を施し、わずかなジグザグを付けています。この刃の上にテープを置いて引くことで、引き裂く動きが左右へ連鎖し、テープがカットされます。従来のギザギザの刃と比較しても、少ない力でカットでき、切れ目も直線的になります。

一方、カルカットの刃は、金属を腐食させる「エッチング」技術により、従来よりも刃のギザギザを細かく鋭利にしています。刃先がテープに垂直に入るため、軽い力でカットでき、切り口もすっきり仕上がるといいます。

ちなみにテープカッターの刃は消耗品であり、直線美、カルカットとも専用の替え刃が販売されています。一般的なギザギザの刃に比べると、実売価格は約2倍以上と高価。まさに刃が「命」の商品であるのが分かります。

「切る」と「貼る」が片手でできる！ アイデア商品「ハリマウス」… 続きを読む